



21 茨城西南医療センター病院

病院の概要

開設	1946年3月
開設者	茨城県厚生農業協同組合連合会
院長名	野村 明広
病床数	358床
標榜科 (28科)	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、リウマチ・膠原病内科、神経内科、外科、消化器外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、小児科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科・頭頸部外科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、救急科、精神科、病理診断科
医師数	67人
指導医数	31人
研修医数	14人
研修医の主な 出身大学	筑波大学、東京医科大学、 琉球大学、秋田大学

外来患者数 | 792人/日

入院患者数 | 266人/日

募集要項

応募資格	2024年3月国家試験合格見込者
採用人数	8名（予定）
試験日程	2023年8月（予定）
選考方法	面接
処遇	■身分 分：常勤職員 ■給与 与：1年次基本給30万円 その他諸手当等を含む年収約480万円 （時間外勤務手当等は別途支給） 2年次基本給35万円 その他諸手当等を含む年収約650万円 （時間外勤務手当等は別途支給） ■社会保険 ：有り ■宿舍 ：単身用有り ■その他 ：公的年金有り、労働災害保険有り

病院見学対応状況

- 見学時間…随時（平日）
- 対象…全学年
- 宿泊…可能（無料）
研修医の宿舎に宿泊可能（要確認）
- 問い合わせ先
担当者：秘書室 長谷川・中澤、庶務課 佐藤
TEL：0280-87-8111（内線2423）
E-mail：kensyu-hisho@seinan-mch.or.jp



応募・問合せ先

茨城西南医療センター病院

〒306-0433 茨城県猿島郡境町2190
担当者：秘書室 長谷川・中澤、庶務課 佐藤
TEL：0280-87-8111（内線2421）
FAX：0280-86-7702
E-mail：shomuka@seinan-mch.or.jp
URL：http://www.seinan-mch.or.jp



- JR宇都宮線の場合
古河駅西口より境車庫行きバス「西南医療センター病院入口」下車、徒歩3分
- 東武伊勢崎線の場合
東武動物公園駅より境車庫行きバス「西南医療センター病院入口」下車、徒歩3分
- 圏央道 境古河ICより約5分

女性医師支援

- ・院内保育所の設置
（0歳児から小学校就学前の児童対象）
（毎週月・木は24時間保育）
- ・病児保育の設置
（生後3ヶ月から小学生
までの児童対象）
- ・妊娠中、育児中の
当直勤務免除
- ・育児短時間勤務可能



保育所

研修プログラムの特色

全ての科目において、幅広い医学、臨床の基本的知識、技能、姿勢を習得可能です。なかでも救命救急センターは三次救急のほか、一次、二次救急も対象としているため、早期よりプライマリ・ケアの基本的診療が可能です。更に第一線の中核病院として、地域医療を支えている小児科や産婦人科でのアクティブな研修も可能です。

筑波大学附属病院、水戸協同病院を協力型臨床研修病院としており同院での研修も可能なほか、当院、JAとりで総合医療センター、友愛記念病院、霞ヶ浦医療センターの4病院で「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」を構成しており、各病院の得意分野を生かしながら相互に研修を受けられる教育プログラムを構築しています。

研修スケジュール例

1年次	内科（24週）				外科（8週）	救急（12週）	自由選択（8週）
2年次	小児科（8週）	産婦人科（8週）	精神科（4週）	地域医療（4週）	自由選択（28週）		

院内もしくは院外において研修することができます。
筑波大学附属病院、水戸協同病院の他に「いばらき夢チャレンジ臨床研修病院群プロジェクト」に参加する下記の病院での研修が可能です。
【参加病院】●JAとりで総合医療センター（取手市） ●友愛記念病院（古河市） ●霞ヶ浦医療センター（土浦市） ●茨城西南医療センター病院（当院）
地域医療：茨城西南医療センター病院附属八千代診療所、精神科：ホスピタル坂東

研修・認定施設一覧

- ・日本内科学会教育関連病院
- ・日本腎臓学会研修施設
- ・日本透析医学会教育関連施設
- ・日本外科学会認定医制度修練施設
- ・日本外科学会外科専門医制度修練施設
- ・日本呼吸器外科学会指導医制度関連施設
- ・日本呼吸器外科学会関連施設
- ・日本呼吸器学会認定施設
- ・日本脳神経外科学会専門医制度訓練施設
- ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
- ・日本臨床細胞学会施設認定制度認定施設
- ・日本脳卒中学会研修教育病院認定施設
- ・日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
- ・日本熱傷学会熱傷専門医認定研修施設
- ・日本心血管インターベンション学会認定研修関連施設
- ・三学会構成心臓血管外科専門医認定機構関連施設
- ・日本胸部外科学会関連施設
- ・日本整形外科学会専門医研修施設
- ・日本眼科学会専門医制度研修認定施設
- ・日本産婦人科学会専門医制度卒後研修指導施設
- ・日本周産期・新生児医学会専門医制度研修施設（補完施設）
- ・日本小児科学会小児科専門医制度専門医研修施設
- ・日本乳癌学会関連施設
- ・日本静脈経腸栄養学会NST稼働施設
- ・日本がん治療認定機構認定研修施設

ほか

病院からメッセージ



研修責任者
飯塚 正 内科部長

当院は救命救急センター（年間受診者数12,120人、年間救急車搬送数3,474件）を擁しており1次から3次救急まで多数かつ多様な症例を診療しています。また、第一線の地域中核病院として、各科が連携協力して専門性の高い医療を提供し、当地域の最後の砦として地域医療を支えています。

「鉄は熱いうちに打て」とことわざにありますが、研修医時代に幅広い医療を多く体験し、知識と技術を会得することは、医師としてのどの方面に進もうともきわめて重要です。当院の症例、指導医、設備いづれも充実した医療環境の中で研修することは、それらを可能にします。当院の提供する豊富な研修材料を利用して、何でも貪欲に吸収しようとする熱意ある研修医を求めます。



研修医
埴 裕太

当院は古河・坂東保健医療圏の3次救急病院として県西地域広域をカバーし軽症～重症まで幅広い患者層を対象としています。指導医の先生方は優しく親身な上に、目の前の研修医が次へステップアップするのに何が必要かを考え実践の機会を与えて下さります。

当院は「研修医一人ひとりが自分のペースで着実に研鑽を積める病院」です。県外の大学出身の私は学生時代に研修先をどこにするか大変悩み、何度もこのパンフレットを読み考え抜いた上でこの西南医療センターと出会いました。そしてそれは正解でした。

このページをお読みの皆様、ぜひ構えず気軽に見学へお越し下さい。見学なしで初期研修の候補から外してしまうにはあまりに惜しい病院です。